

第2学年 道徳学習指導案

指導者 津秋 智子

- 1 日 時 平成23年10月26日（水） 公開授業Ⅱ
- 2 学年・学級 2年1組 35名
- 3 主題名 「楽しい学校」 内容項目 4－（4）
- 4 ねらい 手紙の返事に込められた人々の思いを知った、だいちゃんの気持ちを考えることを通して、学校の良さに気づかせ、これからも楽しい学校生活を送ろうとする心情を育てる。
- 5 資料名 「ヤギのゆうびん屋さん」（自作資料）

6 主題設定の理由

○ 主題観

児童の成長の基盤となる集団の一つが学校である。その学校が、児童にとって安心して生活ができ、また明るく楽しい場であることは、児童の成長にとって大切なことである。

低学年においては、学校を媒体として、学校や自分たちを見守るたくさんの人たちの思いがあることを知り、あたりまえだと思っていた学校生活の良さを発見し学校に誇りを持つことが、意欲的に学校生活を送ろうとする原動力となる。

児童一人一人に学校の一員であることの喜びや愛着を持たせ、さらによりよい学校生活にしていこうとすることの大切さに気づかせていきたいという思いから、本主題を設定した。

○ 児童観

本学級の児童は、学校生活にも慣れ、活動範囲も少しずつ広がっている。また、1年生との活動や生活科の学習などを通して、学校の一員としての意識や責任も芽生えてきている。自分たちでクラス遊びを企画・運営したり、係や当番活動が円滑にできるようにしたりして学校生活をよりよくしようと工夫することもできるようになってきている。

しかし、どんな学校がよい学校なのかということに関心がなかったり、あまりにも当たり前のことなので学校そのものに意識を持っていなかったりする児童も多い。

そこで、自分たちの学校を見守ってくれている人たちの存在に気づかせ、その人々に感謝の気持ちを持たせるとともに、よりよい学校にしていこうため、積極的に学校生活を送ろうとする気持ちを持たせたい。

○ 指導観

本資料は、本校創立20周年記念行事でとばした風船が遠くまで飛んでいき、それを拾った人から激励の手紙がきたという実際の出来事を素材にした、自作資料である。

風船を飛ばした時は、学校生活についてあまり関心のなかった主人公が、風船を拾った人からの応援のメッセージにより、笑顔いっぱいの学校にしていきたいという思いに変わっていくというストーリーである。

児童は昨年創立20周年記念の行事に参加しており、実際に手紙を書いて風船をとばす体験をしている。従って、体験と資料とを重ね合わせてとらえることができるものと思われる。

指導にあたっては、主人公の心の変容を表情図や吹き出しに書かせ、それを用いて「ぞんぶんに話し合う」ことで、ねらいに迫っていきたい。また、板書を構造的にしていくことで道徳的価値への気づきや考えを深めさせたい。

本内容項目においては、特に学校生活全般に関わらせていながら学習を進めることが重要となってくるため、国語科の「わたしのたからもの」での友だちや学校等の自慢のスピーチを通して学校について振り返ったり、生活科の「つくってワイワイあそんでワイワイ」を通して学校生活をより楽しくする活動を行ったりする中で、学校生活の楽しさを意識させていきたい。

特に、体験の生かし方、取り入れ方としては、下記の通りとする。

導 入・・・昨年の創立20周年記念行事での風船飛ばしの体験をもとに、学校の楽しいところなどを交流する中で、資料の世界への導入を図る。

展開前段・・・中心発問において道徳的価値の高まりを理解させるため、基本発問において価値に対して関心の持てなかった主人公の気持ちをしっかりと押さえておく。その上で、学校の良さを発見した主人公の気持ちを表情図や吹き出しを使って話し合わせることにより、道徳的価値に気づかせる。

展開後段・・・生活の振り返りでは、実際に今井さんへ手紙を書かせることで、資料との関連を持たせるとともに本来の自分を振り返る場としていきたい。その際、手紙という形を使いながら、宮園小オリジナル「心のノート」を活用する。

終 末・・・風船の手紙への返事を下さった、今井さんに登場してもらい宮園小学校へのメッセージを実際に話してもらうことにより、道徳的実践意欲を持たせ、余韻をもって終わる。

7 言語活動の充実に向けて（「みやぞの響きあいプラン」の具体的な活用）

① みんなが考えを持つ	中心発問において、だいちゃんの表情とその気持ちを書き出しに書かせる時間を十分に取り、考えを整理し、自分の考えを明確にさせる。
② やさしく聞き合う	風船につける手紙を書く時のだいちゃんの気持ちについての交流において、やさしく聞き合うことにより、いろいろな考えに出会わせ、道徳的価値についての理解を図る。
③ ぞんぶんに話し合う	(指導過程に提示)
④ ノートやワークシートにまとめ深める	振り返りにおいて、宮園小オリジナル「心のノート」に自分の体験をふまえてお手紙を書かせることにより、自分の生活を見つめさせ、自分とのかかわりで道徳的価値をとらえさせる。

8 準備物

短冊・顔の絵・写真・表情図・宮園小オリジナル「心のノート」

9 総合単元的な道徳学習構想図

総合主題名	みんなの学校 大すきな学校	実施期間	平成 23 年 10 月～11 月
めざす子ども像	先生や日ごろお世話になっている学校のまわりの人々に親しみ、学校生活を楽しくしようとする子	中心項目 関連項目	4－（４）愛校心 2－（２）思いやり・親切 2－（４）尊敬・感謝
体験に視点をあてた活動 教科・特別活動・総合他		体験に視点をあてた道徳の時間	児童の意識の流れ
① 国語科 「ありがとうをつたえよう」 伝えたいことを簡単な手紙に書くという言語活動を通して、つながりのある文章を書いたり、手紙を読んだり書いたりして感想を交流する。 4－（４）愛校心 2－（４）尊敬・感謝 2－（２）思いやり・親切		②主題名 「あたたかいところで」 内容項目 2－（２）思いやり・親切 資料名 「くりのみ」 ねらい 2つしかないくりの実をウサギからにもらったキツネの気持ちを考えることを通して、人が困っている時、温かい心でいたわることの大切さに気づかせ、お互いに助けあっている心と育てる。	① 多くの人から助けってもらったり、親切にしているよ。感謝の気持ちを手紙にしよう。 ② この学校にもやさしい人がたくさんいるよ。やさしさにあふれた学校にしたいな。 ③ みんな宝物をもっているんだね。宝物は物だけではないんだね。家族や友だち、学校も宝物だよ。 ④ ぼくたち、わたしたちの学校はいいところがいっぱいあるよね。笑顔いっぱいの宮園小学校にしたいな。 ⑤ みんなが楽しくなるお祭りをしようよ。1年生も招待してみんなで楽しく遊べたらいいね。 ⑥ 自分たちの学校は楽しいね。みんなの学校をもっと素敵な学校にしたいな。
③国語科 「聞き合おう わたしのたからもの」 自分たちが大事にしているものについて理由などをわかりやすく作文にしたり話したりする。 4－（４）愛校心 2－（４）尊敬・感謝		④主題名 「楽しい学校」(本時) 内容項目 4－（４）愛校心 資料名 「ヤギのゆうびん屋さん」 ねらい 手紙の返事に込められた人々の思いを知った、だいちゃんの気持ちを考えることを通して、学校の良さに気づかせ、これからも楽しい学校生活を送ろうとする心と育てる。	
⑤生活科 「つくってワイワイあそんでワイワイ」 工夫して作ったり遊んだりして楽しいお祭りのしかたについてみんなで考えを出し合う。 4－（４）愛校心 2－（２）思いやり・親切		⑥主題名 「学校だいすき」 内容項目 4－（４）愛校心 資料名 「わたしの学校、いい学校」 ねらい みんなでつながり、声をそろえて歌っている時のトットちゃんの気持ちを考えることを通して、学校の良さに気づかせ、みんなでもっと素敵な学校にしようとする心と育てる。	
先生や日ごろお世話になっている学校のまわりの人々に親しみ、学校生活を楽しくしようとする子			

10 指導過程

段階	学習活動	おもな発問と児童の心の動き	指導上の留意点	体験を言葉で生かす指導 ☆体験を引き出す発問
導入	1 資料に関わる体験を引き出す。	○ 1年生の時風船を飛ばしたね。お手紙に何を書いたか覚えていますか。 ・あいさつができる学校 ・たのしい学校	○ 創立20周年記念の風船飛ばしでのお手紙について交流し、資料に入りやすくする。	○ 昨年の体験を想起させ資料との関連を図る。
展開前段	2 資料の前半を読んで話し合う。	○ だいちゃんは、風船につけるお手紙をどんな気持ちで書いたのでしょうか。 ・書くことがわからない。 ・どんなことを書けばいいのかな。 ・学校の自慢なんてないなあ。 ・てきとうに書きちゃえ。 ○ だいちゃんが顔を赤くしたのは、どんな気持ちだったからでしょう。 ・手紙の返事が遠くからきたから。 ・手紙の返事がもらえてうれしい。 ・返事を丁寧に書いてもらってなんだかはずかしい。	○ 学校のことについて無関心なだいちゃんの心の中を押さえる。 ○ 学校のこと大好きな子が書いてとばしたのではないのに返事が丁寧に返ってきたことへの戸惑いを感じさせる。	○ 自分がかいたときに同じような経験がなかったか自問させる。 ☆ 主人公と同じような経験はないかな。 ○ 自分にも同じような体験があれば思い起こさせる。 ☆ 顔を赤くする時はどんな時？
	3 資料の後半を読んで話し合う。	◎「そうか。花園小学校は笑顔がいっぱいなあ。」と言った時、だいちゃんはどんな気持ちでしょう。	○ 主人公の表情を図や吹き出しに表し、交流することにより、学校生活の良さについて理解させる。	○ 学級目標である「えがおいっぱい」で自分が頑張っていることも思い出させる。 ☆ みんなも笑顔いっぱいになるように取り組んでいるよね。

③ぞんぶんに話し合う。

だいちゃんの気持ちを表情図や吹き出しを使って表現し、それを交流させることにより、うなずきながら聞いたり体験を思い出したりしながら、学校生活の良さに気づいただいちゃんの気持ちについて話し合う。

〈子どもの姿〉

自分たちの学校を自慢に思い、あたりまえに生活してきた学校生活をより楽しいものにしていこうという気持ちを持つことができる。

		・ぼくの学校はすごいんだよ。 ・みんな元気にあいさつができるよ。 ・トイレのスリッパがそろっているよ。 ・花園小学校にはいいところがいっぱいあるよ。 ・もっといい学校にしていきたいな。		
展開後段	4 生活を振り返る。	○ みんなも宮園小学校の自慢を見つしましょう。 ・あいさつがいっぱいできる学校です。 ・スリッパがそろっています。 ・楽しいことがいっぱいあります。 ・みんな、なかよしで元気に遊んでいます。	○ 宮園小オリジナル「心のノート」に具体的な学校の良さを紹介する書きこみをする。	○ 現在の生活を振り返り、宮園小学校の良いところを書かせる。
終末	5 今井さんの話を聞く。	○ お手紙をくださった今井さんが来てくださっています。お話を聞きましょう。	○ 余韻を持って終わる。	○ 今井さんも応援してくれていることを知り、喜びを感じさせるとともに、さらにすばらしい学校にしていこうとする気持ちをもたせる。

1 1 板書計画

・ぼくの学校はすごいんだぞ。

・みや園小学校はいいところがいっぱいあるよ。

・もっといい学校にしていきたいな。

表情図

表情図

表情図

見まわしている
だいちゃんの顔

花園小学校のことがすきだったかな？
えがおいっぱい
の学校？

困っている
だいちゃん
の顔

書くことがわからない
・自まんすることがない

今年の
風船飛ばしの
時の写真

・あいさつができる学校
・たのしい学校

ヤギのゆうびんやさん

すばらしい学校にしてください

どんな学校か知りたいです

えがおいっぱい
の花園小学校

大きな子が書いたのですね

今井さん
の顔